

野田ロータリークラブ週報



Peace
through Service

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリーのテーマ

第2692回例会(3月11日) 第2685号 2013.3.18発行 ■創立:昭和31年5月 ■例会日:毎週月曜日 PM12:30~13:30

会長:古谷 尊生 / 会長エレクト:伊藤 義雄 / 副会長:染谷 栄 / 幹事:三浦 直哉 / 副幹事:栗林 徹

例会場 事務局

〒278-0035 野田市中野台168-1 野田商工会館内5F(櫻のホール) TEL(04)7125-0061 FAX(04)7125-0055 ■発行責任者:古谷 光裕

会長挨拶



古谷 尊生 会長

東日本大震災犠牲者への黙祷

皆さんこんにちは、ここ数日は気温が20度を超えるような暖かい日が続いておりましたが、一転して今日は気温が上がらず寒い日となってしまいました、会員の皆様方には体調管理に気をつけて頂きたいと思っております。

今日は、一昨年3.11の東日本大震災から丸2年という事で、防災意識をあらためて再認識する日となりました。ここで、震災で亡くなられた方々に黙祷を

捧げたいと思いますので、皆様ご起立をお願いします。黙祷。有難うございました。

未だ復興の道のりは遠い訳ですが、我々も支援の手を忘れずに続けていかなければならないと思っております。

ところで、我が家の河津桜もこの暖かさで5分咲きとなってまいりましたが、ふと気がつくと、境内の墓地の中も雑草がどんどん生えてきておりまして、長い鎌を持って雑草との本格的な格闘モードになってきました。これからお彼岸になりますので、何とかそれまでには綺麗な状態でお墓参りしてもらいたいと、1日2時間くらいのペースで雑草と戦っております。

土手のカラシナも、今が盛りと花芽を立ち上げてきておりまして、皆さん早朝から、摘みにきているので一句、

「待ちきれず 芥子菜摘みの 背に朝日」

もう一つは、朝の犬の散歩に行った時に、この春初めて鶯のさえずりが直ぐ側で聞こえたのですが、まだあまり上手に鳴けなかったので、

「ごちなき 鶯の声 あと少し」

と詠んでみました。

以上で会長挨拶とさせていただきます。



第2692回例会

点 鐘 古谷 尊生 会長
司 会 元良 信有 会員
ソング 我等の生業

御誕生祝い



仲長 孝 会員(3月13日)

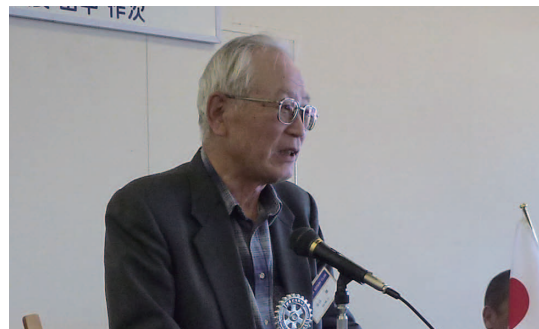
御結婚祝い



高梨 茂 会員(3月15日)

出席 今回分(3月11日分)
会員49名中38名出席(77.55%)

(2月25日分)
前々回訂正(79.59%)
(前々回欠席11名中メーキャップ1名)
古谷 光裕 会員 3/15 野田東RC



ニコニコボックス

仲長 孝 会員
誕生祝いありがとうございます。
高梨 茂 会員
結婚祝いありがとうございます。

幹事報告

三浦 直哉 幹事



例会変更のお知らせ

○松戸北ロータリークラブ
3月12日(火)…3月11日(月)チャリティーコンサート
北小金駅南口「つばさの像」前
14:30~15:30
その後移動例会として
場所:トラットリア朝日屋 点鐘 17:00
3月26日(火)…移動花見例会は通常例会に変更
場所:シャトレ 点鐘 12:30
○野田芽吹学園から定期広報紙が届いています。
○3月25日の例会でクラブ細則、内規の変更を採決します
ますので、なるべく多くの出席をお願いします。



「種々(くさぐさ)ありて」

種々と書いて、くさぐさ。いろいろ、さまざまのことですが、別の意味では、駿の毛が短くなり衰えた子に指しますので、種々とは一度私の年頃のことと思います。

昨年は三つの目標を掲げました。目的は継続できること。途中放棄しないでゴールできる工夫することでした。

- (1) 般若心経を書く。
- (2) 日記に一句。
- (3) 年間読書 200冊。

(1)の般若心経は母の遺言で、毎朝読経の習慣があり、親しき男の課題です。正式の写経ではなく、自筆で書くこと。禅宗の有馬頼徳大僧は一字三十字と書きゆいといわれています。般若心経は276文字なのであつり脱帽です。無の字21。不。8。空7字。外にも重複する字が沢山あり、実数は200字位と楽な考えでスロウしました。早速100円ショップの硯、小筆、墨汁の一式揃え。紙は432の裏面利用と心の経済者意識も極めて軽い気分で、楷行年の出発でした。一日一字ではなく一日432一枚。48字。流し目録です。これ7月1440字練習行われました。1年で17,520字。一字3000字には到底及びないが2世人が続けられた年だと感じました。

(2)の日記に一句は、いよいよ日記は放り投げた。週間の忙しさをたがって音節にしていたので、一日に一句の目録はあつて新鮮に読むと楽観しました。日本には四季がある。自然の文脈の中で生きている。



人に恩恵の無用では無い。心の会館だ。一年終われば
 365日 愉快は丸分て大毎日だ、
 3)の年間読書200冊は環境の推進だ
 図書館の隣組、飛鳥の至近距離だ。毎週
 金土曜日に新刊本が展示される。貸出し期間が
 1冊(何冊も可)14日。月2週とみて20冊近く借覧
 でき、女子の本だけ手許におけば年間200冊はOKと
 なります。『名作うし読み』の著者は、巻末の文章を巻頭
 にかかげ、中身は類推するという良法は読書法を示して
 おりますが、私は読み始めるとは巻末を額面読んだ
 ことがございまして、そんなくくおの読書です。
 以上で大変安易な方法でした。この一年間の目標
 は達成されました。顕著なことは心算を通じて、物事
 すべてに感謝です。お話しという言葉の美しさを体得
 できたことです。余韻に任せて、キョーエビと退職して
 北海道に移住し、現在函根市在住の竹内五男と
 して、昨年の年賀状に「お別れという26年にははす
 中芳村と忘れ難く存しておりました。大変お話し
 して感激しております。今年の年賀状には、毎年
 味水の深い句を拝読させて頂きお話しを頂いた。お話し
 お話しお話しと申しす。お話し。お話しと
 心に刻みました。人は仲間に支えられて生きて
 いるという実感がありました。

野田ロータリークラブ 例会・卓話予定表

月日	卓話・行事	月日	卓話・行事
3月18日(月)	卓話 佐野 浩平 会員	4月 1日(月)	卓話 杉崎光三郎 会員
3月25日(月)	卓話 染谷 栄 会員	4月 8日(月)	卓話 染谷 肇 会員